

令和3年度第3回成年後見制度利用促進協議会 会議要旨

【日時】 令和4年1月17日（月）18：00～20：00

【場所】 佐世保市中央保健福祉センター3階デイケア室（オンライン開催）

【出席者】

（委員）千住委員、池田委員、江崎委員、林委員、馬場委員、横田委員、脇野委員

（オブザーバー）信原書記官（長崎家庭裁判所佐世保支部）

（事務局）長寿社会課：釜谷課長補佐、七種課長補佐、村木、松浦

障がい福祉課：波木課長補佐、生駒

【欠席者】

（委員）西田委員、櫻井委員

【会次第】

1. 開会

2. 佐世保市あいさつ

3. 議事

（1）令和3年度成年後見制度関係事業について

事務局担当より、配布資料に基づき報告。

（質疑1）

委員

情報交換会の任意後見の部分で、公証人の講義60分は動画を流す予定？

事務局

動画30分、説明30分の予定。

（質疑2）

委員

フリートークのブレイクアウトルームは何人ぐらいを想定？

事務局

前回の参加人数を踏まえ、6～7名を想定。

(質疑3)

委員

グループワーク後は、誰かとりまとめて発表する等考えている？それとも、グループ内での情報交換だけで終わらせる？

事務局

グループ内での事例報告までを想定している。

(質疑4)

委員

時間が足りるのか心配。誰かファシリテーターが入らないと、時間切れの懸念もある。事前の打ち合わせが必要かと思う。

事務局

ありがとうございます。検討させていただきます。

(2) 令和4年度成年後見制度関係事業について

事務局担当より、配布資料に基づき報告。

(質疑1)

委員

事業内容「相談機能」の令和4年度拡充予定ということで、法的助言が必要等困難ケースの2次相談窓口には、現在、包括支援センターでも権利擁護、成年後見等の相談を受け付けて対応しているかと思うが、そこでまともまらないような、困難なケースについて、当てはまると考えていいのか？

事務局

委員がお話されたとおり。包括で対応されているケースの中でも、なかなか先に進まず、法的な助言が必要だという事例があると聞いている。その場合、「相談機能」を使って、本人の「意思決定支援」を踏まえた対応を一緒にしていただく流れになると想定している。

(質疑2)

委員

例えば、包括以外では、どのような相談を想定されているのか？

事務局

包括にくる相談以外は、市に来ているのが現状かと思う。その場合も、同じように中核機関の2次的な相談対応と一緒に検討していくという流れになると考えている。

(質疑3)

委員

「基本計画」について、地域福祉計画において「広い分野」でみていくことも必要かと思うが、もっと地域に浸透させるきめ細やかな対応が必要。今の段階では、障がいや老人福祉の計画に入れておいた方が良いと思う。また、事務局提案のとおり、計画の期間が、地域福祉計画は5年と長い。成年後見制度はまだ見直しなども行われているところなので、次のステップアップに向けてさらに深めたものを作ることができればと思う。

事務局

ありがとうございます。

(質疑4)

委員1

小児の成年後見制度に関する問題点はありますか？問題なければ、障がい福祉、老人福祉の計画に盛り込む形でもよいと思う。

事務局

国の資料に「第2期基本計画の工程表とKPI」がある。国の基本計画の主な内容が記載されているが、ここでは、小児の対象となる未成年後見制度について触れていない。今のところは、現行の高齢者、障がい者関係の計画にて進めていきたいと考えている。

委員2

未成年後見の問題は大きく、成年後見制度と元となる法律含め異なる。未成年後見制度は児童相談所との連携が重要で県がもう少し動いて全く別物という枠で考えて進めていいかと思う。

(質疑5)

委員1

「広報機能」の令和4年度拡充予定に情報交換会の開催と市民向け講演会の開催とあるが、市民向け講演会の講演する方は検討してる？教えていただければ。

事務局

市民対象の講演であるため、協議会のメンバーの専門職の方やオブザーバーの家庭裁判所の方に依頼をする形を考えている。

委員 1

それも良いと思うが、専門家が話すと固くなってしまう。面白い、落語形式のような講演ができる方がいらっしゃれば、市民がわかりやすくないかと思う。

委員 2

外部からのゲストという形で人選をしてもいいのではと思う。専門職でも講演が上手な方がいる。また、遠方の講師の方の場合で移動が難しい場合は、リモートの手段もとれる。今までと違ったような取組みをされてもいいかと思う。

(3) 成年後見支援員養成講座の開催報告について

長崎県社会福祉協議会担当より、配布資料に基づき説明、報告。

(質疑)

特になし

4. 閉会